

7 Noahide laws



「**ノアの7つの法**」とは、タルムード（ユダヤ教の聖典）において、神が大洪水の後にノアを通じて全人類に与えたと記されている、すべての人が守るべきとされる規範です。

1 偶像崇拜の禁止

世界の創造主である唯一の神の存在と、神が私たち一人ひとりを気にかけて、この世界を大切にすることを望んでいることを信じる。

2 冒瀆の禁止

命と世界を与えてくださった神を敬い、賛美する。どのような場合でも、神を呪ったり、蔑称を口にしたりしない。

3 殺人の禁止

人命の価値を尊重する。殺人は、創造主である神を害することであり、一つの生命の破壊は世界を破壊することと同然とみなされる。



4 性的不道徳の禁止

社会の基礎である家族や結婚生活を尊重し、姦淫・近親相姦などの不道徳な性生活を営まない。

5 窃盗の禁止

他人の権利や所有物を尊重する。自分の受ける利益が他人の不公平な犠牲によるものではないかに配慮する。

6 生きて動物の肉を食べることを禁止

生きている動物から切り取った肉や、血を含む肉を食べない。神の全ての被造物に慈悲の心を持ち、動物に過度の苦痛を与えない。

7 司法制度の確立

正義を追及し、法と秩序を遵守する社会が維持されるよう、法廷を設立・維持し、適切な知識を持った判事が裁判を行う。

「ノアの7つの法」とハバッドハウス・オブ・ジャパン

ハバッドハウスは、偉大なラビであるレビ・メナハム・メンデル・シュネルソンによって設立されました。彼は、人類すべての子供たちには勉強だけではなく、人格形成の重要性に焦点を当てた教育が必要であることを、生涯にわたって説き、尽力してきました。彼は子供たちの教育に関して、「ノアの7つの法」を順守することを説きました。

1978年、その功績を称えて敬意を表するために、米国議会はユダヤ歴の彼の誕生日（一般に西暦では3月21日から4月21日まで）を「Education and Sharing Day（教育と共有の日）」として法律で決めました。1991年の米国の公式文書で、「ノアの7つの法」は「文明社会の基礎であり、私たちの偉大な国家が設立された倫理的価値と

原則」であると説明されています。私たちは、私たちの先生である彼の遺志を継ぐハバッドハウス・オブ・ジャパンを通して、「ノアの7つの法」に則りながら慈善活動を行うために日本にやってきました。みなさまにもそのことを知っていただきたく、「ノアの7つの法」の詳細についてこちらに記しました。